



2021年2月15日

各位

会社名 株式会社 福田組  
代表者名 代表取締役社長 荒明 正紀  
(コード：1899、東証第1部)  
問合せ先 取締役管理部長 山本 武志  
(TEL. 025-266-9111)

### 通期業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ

2020年8月7日に公表しました2020年12月期通期業績予想と、本日公表いたしました2020年12月期通期決算の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 1. 2020年12月期通期業績予想数値と実績値との差異(2020年1月1日～2020年12月31日)

##### (1) 連結業績

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 176,000	百万円 6,800	百万円 7,000	百万円 4,600	円 銭 540.01
当期実績値(B)	185,764	8,905	9,038	5,979	689.77
増減額(B-A)	9,764	2,105	2,038	1,379	
増減率(%)	5.5	31.0	29.1	30.0	
(ご参考) 前期実績 (2019年12月期)	182,088	8,055	8,350	5,475	619.46

##### (2) 個別業績

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 110,000	百万円 4,600	百万円 5,100	百万円 3,500	円 銭 410.88
当期実績値(B)	116,985	5,719	6,205	4,189	483.31
増減額(B-A)	6,985	1,119	1,105	689	
増減率(%)	6.4	24.3	21.7	19.7	
(ご参考) 前期実績 (2019年12月期)	119,964	5,573	6,132	4,290	485.38

### (3)差異の理由

売上におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、受注機会の減少を想定しており、民間事業においては想定通りの動きをしておりましたが、公共事業においては影響度が少なかった結果、公共事業主体に活動する子会社については当初計画以上の売上高を計上する結果となり、元々見越していた高水準であった前期繰越高を含めて、連結においては前回発表並び前期を上回る結果となりました。

また、利益におきましては、前回発表（2020年8月7日）時においては、新型コロナウイルス感染症拡大に対する懸念をぬぐい去れず、施工面においては工程の遅延などによる工事利益の押し下げを想定していましたが、幸いなことに当社グループにおける工事の中断や進捗の遅延が発生すること無く順調に進捗出来た点や、採算性の高い工事物件が完成したこと等による粗利益率の上昇が貢献し、連結においては売上高自体の増加もあって、前回発表した計画から大きく上回る結果となりました。

以上